



## 27

#### 藤磯平トンネル貫通祝う

平成29年6月の大雨で通行止めとなっている市木地区の 国道448号藤〜磯平間をつなぐ、藤磯平トンネルの貫通式 が行われました。工事関係者ら約40名が出席。式では関係 者が重機で土壁を掘削し、坑内に光が差し込むと拍手が鳴 り響きました。その後鏡開きや万歳三唱なども行われ、早 期開通への機運を高めました。串間土木事務所の桑畑正 仁所長は「今後も一日も早い完成を目指し、総力を挙げて



鏡開きで貫通を祝う関係者

事業を進めていきたい」と話していました。同トンネルは昨年5月末から本格的な掘削工事を開始しており、 本年度中の完成を見込んでいます(開通時期については未定)。

## 1

## 飲食店へコロナ感染防止対策の啓発呼びかけ



ガイドラインには、3密回避や消毒の徹底などが 盛り込まれています

8月17日、宮崎県や各市町村、関係団体は「新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン遵守に係る共同宣言」を行い、県内の飲食店でガイドラインが守られているかを確認するため、毎月1日を「県内一斉ガイドライン点検の日」として設定しました。9月1日、初の県下一斉で点検を行い、本市においても午後7時半から市長、商工会議所の堀口勝郎会頭、串間土木事務所の桑畑正仁所長など関係者ら約30人が各飲食店を巡回し、点検およびガイドライン遵守の呼びかけを行いました。この点検は今後も引き続き行われ、さらなる感染防止対策の徹底を呼びかけていきます。

#### ■ 串間JVC 県南選手権バレーボール大会 14 優勝し市長へ表敬訪問

串間市内の男子児童で構成しているバレーボールチーム、「串間JVC」が9月5日の「第42回県南選手権バレーボール大会男子・混合の部」で優勝し、市長に報告しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各大会が中止、施設閉鎖により練習もなかなかできない状況にも関わらず、輝かしい功績を収めた児童たちの表情は自信と活気に満ちあふれていました。キャ



串間 JVC の皆さんと記念撮影

プテンである福島小学校6年生の吉田兼周くんは「優勝できてとても嬉しい。今後大会があったときに優勝できるよう、練習できついときでもみんなで声を出して頑張っていきたい」と話していました。

## 今月の KUSHIMA =くしまトピックス= TOPICS

#### | 電気工事組合青年部が市営住宅共用灯清掃



手作業で清掃を行う青年部員

串間電気工事業協同組合青年部は、地域貢献の一環で昨年から市営住宅の共用灯の清掃、点検を行っており、本町かんな団地で作業を行いました。同部に所属している市内業者6社の計8人が参加し、階段や通路などにある照明器具を洗剤や布巾などを使い、丁寧に汚れを落としていました。部長の大塚公男さんは「少しでも利用者の役に立てたらうれしい。今後も続けていきたい」と話していました。

# 災害時などに宿泊施設を避難所として活用する協定を締結

本市は宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合串間支部(市内7宿泊施設で構成)とゲストハウスたけだとの間で、災害発生時に高齢者などがホテルや旅館を避難所として利用できるようにする協定を結びました。市役所で調印式が行われ、市長と同支部の中村貢治支部長が協定書に調印しました。対象となるのは土砂災害・洪水警戒区域に居住している65歳以上の高齢者や障がい者などで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大につながる「密閉・密集・密接」のいわゆる「3密」を防ぐのが主な狙いです。中村支部長は「市民の方々には日ごろからお世話になっているので、災害が起こった際はできる限りの対応をしていきたい」と話していました。



市内8カ所、最大230人が 利用可能となります

#### **栽培から4年を経て** カシを本格的に収穫



ナシを収穫する荒山さん

4年前からナシの栽培に取り組んでいる荒山修三さんが、今年初めて本格的な収穫を迎えました。荒山さんはナシの人気品種「豊水」を、「完熟キンカンたまたま」の生みの親であり、市農業振興課地域農政指導員である古屋修市さんの協力を受けながら2人3脚で栽培しており、今年は約1,000個が実りました。荒山さんは「4年目でようやく出荷にこぎつけて嬉しい。来年はさらに玉をそろえてきれいな品を作っていきたい」と話していました。豊水は9月上旬まで収穫が続き、市内の販売所などで販売されました。

7 Kushima City Public Relations, 2020.10, Japan